

図書館だより

12月図書館カレンダー

日	月	火	水	木	金	土
	①	2	3	4	5	6
7	⑧	9	10	11	12	13
14	⑮	16	17	18	19	20
21	⑳	㉑	㉒	㉓	㉔	㉕
28	㉖	㉗	㉘	㉙	㉚	㉛

休館日：祝日(23日)
 月曜館内整理日(26日)
 年末年始休館(12月27日～1月5日)

花温室の新月からみ年うつる

一年の境目、すなわち大晦日から元旦にわたる時間、またその行事を言う。歳神を迎えるために厳重に物忌して終夜起き明かすのが古い形であり、この夜、除夜の鐘をきくまで起きているのも、その名残である。この夜の食事は、おせち・としとりと言って、特殊な食物を取る。

〔最新俳句歳時記より〕

師走、この一年を振り返り皆さんの蔵書である図書館の本とはどのくらい出会いましたか？
 クリスマスには樅の木を図書館ロビーに立てます。ご鑑賞いただきながら飾り付けもお楽しみください。

今月の新刊案内

- 一般図書
- 絵本はともだち 中村 柊子
 - 古本屋の来客簿 高橋 輝次
 - 日本人とは何か 中西 進
 - 他人をほめる人、けなす人
 - フランチェスコ・アルペロニ
 - 出雲の銅鐸 佐原 真

朝鮮王朝実録 朴 永圭

キャサリン・グラハムわが人生

島旅の楽しみ方 河田真智子

これからの10年 日下公人

誰も見なかった中国 落合信彦

エルミタージュの緞帳 小林和男

グレイゾーン 久保田誠一

「女と男」の検事調査 松木 麗

少年 毎日新聞大阪本社編集局

ひとり化する子どもたち

恐竜絶滅のメッセージ 三好邦雄

ウィルスのしくみと不思議 松井孝典

見分けて選ぶ輸入食品Q&A100 長野 敬

高齢者にやさしい住宅増改築実例集 食生活研究会

ほつとするね和風ごはん 家の光協会

オーブンのいらぬパン 加藤美由紀

球根草花12ヵ月 祐成二葉

日本の犬は幸せか 主婦の友社

失敗しない通信販売の利用法 富沢 勝

中高年の感動写真 入門 平松由美

やすらぎのハーブクラフト 中野正皓

ギドン・クレールメル線の触れ合い 外山たら

ギドン・クレールメル 中野 翠

モハマド・アリの道 中野 翠

文章の書き方の基本を身につける本 デイヴィス・ミラー

金さんの絵でわかる韓国語会話 森脇逸男

若い読者のための短編小説案内 金 裕鴻

夫・遠藤周作を語る 村上春樹

遠藤順子

島の少年 内海隆一郎

いとしい 川上弘美

算学芸芸帳 金 重明

うるわしき日々 小島信夫

智恵子飛ぶ 津村節子

午後の行商人 船戸与一

焚火の終わり 上・下 宮本 輝

インザ・ミンスープ 村上 龍

水滴 目取真俊

やさしい気持ち 井上 都

いくつもの週末 江国香織

新しい歌をうたえ 鈴木光司

いざとなりや本ぐらゐ読むわよ 高橋源一郎

明るい旅情 池沢夏樹

女処刑人ジャネット A・J・ホルト

水の淑女 上・下 シドニー・シエルダン

ラストオーダー グレアム・スウィフト

兄弟の血 マイケル・C・ホワイト

外二九冊

児童図書

ハイテクで解く縄文の謎

図解で調べる社会のしくみ 全6

子どもたちの戦争

家族になったスズメのチュン

実物大マスケット人形

だまし絵であそぼう

ガマ田先生にまかせなさい

月のさかな

名犬ボチ物語

十三階の海賊たち

ナゲキバト

アンネがいたこの一年

コブタの気持ちもわかってよ

ラヴ・ユー・フォーエバー

空を見ていた

こんには！野生のおともだち

ねむれないよるは

外七一冊

心の健康シリーズ(56) 結果より過程をほめるほうが意欲を高める



子どもがテストなどで、百点をとったり、作品が良くできたときなど、多くの親は、「よくできたね」とか「えらいね」とほめますが、しかしこのほめかたは、あまり上手なほめかたではありません。

どうしてかと言うと、第一に親が子どもに向かっている「えらい、よくできた」と言うのは上の人が下の人を評価しているわけで、言われた子どもにしてみれば受身的身的で支配されていることになり、「よくできたね」と言う言い方はとりよるによつては「ひやかされてる」「よるにも聞こえます」。

子どもが喜ぶのは、結果でなく、経過、過程を認められることです。「あなたが、こう出来たのも、普段から頑張っていたからよ、よかったわね」とほめてやることの方がよほど子どもは喜び、意欲を高めます。

子どもは、勝ち負けや結果だけで判断されるよりも、そこに至るまでの努力を認められるとますます元気づけられます。支配の関係では、競争重視となり、結果さえ良ければいいと言う考えになります。

そうした競争重視では、自己中心となり、仲間への思いやり、いたわりなど、豊かな社会性は育ちません。

競争原理の中では、最後まで勝ち残れるのは、ほんの一部の人であり、人間形成の面から見れば豊かな人間性の欠けた、立身出世欲の強い人間になります。

現在の受験批判は、こうした面から生まれているのです。

競争に勝ち抜くというよりも、子どもたちが一生懸命努力して、新しい創造的な知恵や知能を身につけて豊かな生活のために役立てるといったことに生かすような人間育成が望まれています。

そうした人間育成のためには、親子が支配の関係でなく、対等の立場でものを考え、結果でなく、経過を重視し、認め、励ますことが大切です。

また、他の人と比較し、競争意識を持たせることより、豊かな人間性を育てることの方がどれだけ重要であるかを考え、子育てをする必要があります。

今、子どもたちに求められているのは、変化する社会に主体的に対応し、正しく判断し、行動できる人間の育成であり、「生きる力」をもった人間であります。

正しい知識、正しい判断力、実行力を育てるためには、支配や命令でなく、子ども自身が判断し、決断できる能力を持つことが大切です。

子どもの悩みとは

教育相談室へ

月々金 午前8時30分～

午後4時30分

(八潮屋台展示庫前)

☎(43)1323